

# 浅場で数、型ともに好況続く 銚子外川沖の夏ヒラメ

銚子外川港出船 撮影◎鈴木良和

★当日最大は3キロ級。2日後には6.1キロも上がっていた



▲いい日はトップでツ抜けすることも  
◀大ヒラメは合わせた瞬間に強烈に引き込む



▼オモリは状況で60~80号を使い分ける



◎アタリがあっても早合わせは禁物。ジックリ食わせてから合わせよう



▲今攻めている外川沖のポイントは水深10~15メートル前後と浅い  
◀この日のトップは4枚



▲アタリがなければ誘ってみるもあり  
◀主体となるのは1キロ前後  
▶タモに魚を誘導するように入れる



6月に開幕した銚子〜九十九里飯岡のヒラメ釣り。ここ数年は良型主体のスタートとなっていたが、銚子外川沖では今年1キロ前後を主体の釣り模様。といっても小型ばかりというわけではなく、3〜6キロ級の良型も連日のように上がっている。

何よりこの時期の外川沖はポイントの水深が浅いのが特徴。海底もそれほど根掛かりするような場所ではないから釣りやすいのもうれしい。梅雨ときは雨水の影響で釣果にムラは出るものの、梅雨明けして照り込みが続けば本格的な夏ヒラメシーズンとなるだろう。(詳細は52ページ参照)

◎銚子外川港・長栄丸 木村 真喜雄船長